

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E111B018	道徳の指導法(Methodology of Moral Teaching)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
必修	2	2	教育学部			氏名 吉野 敦 E-mail ayoshino@oita-u.ac.jp 内線 7539										
授業の概要	本授業では、道徳教育史や倫理学など道徳教育の基礎となる理論的知識を幅広く学んだうえで、学習指導案作成や模擬授業の実施を通じて、学校での道徳教育を担うための実践的知識・技能を身につけることを目指す。															
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	学校での道徳教育全般や各種指導法を支える基礎理論について説明できる															
目標2	現代日本の社会状況にたして道徳教育の課題と意義を説明できる															
目標3	指導法上の工夫を取り入れた道徳科学学習指導案を作成できる															
目標4	模擬授業を実施し、相互に批評・アドバイスしあうことができる															
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1	導入：道徳教育の根本問題															
2	学校における道徳教育の目的と内容															
3	道徳教育の指導計画															
4	道徳の指導法：道徳性の発達理論とモラルジレンマ授業															
5	道徳の指導法：問題解決的な学習															
6	道徳の指導法：道徳的行為に関する体験的な学習															
7	道徳科教材研究：定番教材の吟味															
8	道徳科教材研究：教科書以外の多様な教材															
9	道徳科における評価の意義															
10	道徳科学習指導案作成の手引き															
11	道徳科と現代的課題															
12	日本の学校における道徳教育の歴史と今日的課題															
13	道徳の倫理的基礎づけ															
14	模擬授業															
15	模擬授業															
ラック ニテ ンイ グ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	学習指導案作成、グループでの討議、模擬授業の実施および相互評価				工夫 その 他の	必要に応じてMoodleを利用する。									
時間外学修 の内容と時間 の目安	準備 学修	配布資料、参考文献等の予習(5h)。学習指導案作成および模擬授業の準備(20h)。														
	事後 学修	配布資料を用いた復習(8h)。模擬授業の相互評価活動(2h)。小レポート作成(10h)。														
教科書	特に指定しない。適宜、参考文献や資料を指示・配布する。															
参考書	・文部科学省『小学校学習指導要領(平成29年告示)』 ・文部科学省『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編』															
成績 評価 の 方法 及び 評価 割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10				
	小レポート	30%														
	学習指導案	60%														
	模擬授業の相互評価コメント	10%														
小レポートと学習指導案の提出、模擬授業への参加を単位取得の条件とする。																
注意事項																
備考																
リンク	URL															